（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス　たいよう

公表日 令和　8年　3月　1日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		仕切りが無いワンフロアなので、利用者同士の接触などはありませんが、広いが故に走ったりする利用者もいるので注意しています。	利用者が大きな行動を取らなように声かけや職員の場所の配置に注意しています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	9		適正人数で配置しています。	特にありません。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	3	トイレ、キッチンは視覚的にわかりやすくなっています。外階段がありバリアフリー化が難しいです。	階段などは必ず手をつないで昇降しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		毎朝、出勤後に職員全員で清掃を行っています。	特にありません。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		面談室をヘルプルームとして使っています。	特にありません。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	1	月一回の職員会議で周知しています。	パート、アルバイトへの周知をもう少し深められるようにしていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		評価表の内容を全職員で共有し会議を行ってます。	特にありません。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		月一回の職員会議で意見を交換しています。	特にありません。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	1	外部（地域の相談事業所様）が主催する研修会に参加し社内でも落とし込みを行っています。	幅広い職員にさんかしてもらえるように検討していきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		サイトにて公表しています。	特にありません。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		月一回の職員会議で共有し意見を交換しています。	特にありません。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		月一回の職員会議で共有し意見を交換しています。	特にありません。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	9		月一回の職員会議で共有し意見を交換しています。	特にありません。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		月一回の職員会議で共有し意見を交換しています。	特にありません。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		月一回の職員会議で共有し意見を交換しています。	特にありません。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		月一回の活動プログラムの打合せを行い共有して意見を交換しています。	特にありません。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		毎日、支援内容の違う活動プログラムで行っています。	特にありません。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9		月一回の職員会議で共有し意見を交換しています。	特にありません。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	1	朝礼を行いその日のタイムスケジュールや役割を決めています。	パート、アルバイトへの周知をもう少し深められるようにしていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	9		帰りの送迎後に簡単なミーティングを行い問題点や保護者の方からいただいた情報などを共有しています。	パート、アルバイトへの周知をもう少し深められるようにしていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		個々でメモ帳などに記録を残して気になる点やよかったことなどを共有しています。	特にありません。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		月一回の職員会議で共有し意見を交換しています。	特にありません。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	9		月一回の職員会議で共有し意見を交換しています。	特にありません。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		自由時間の中でどのように遊ぶか、おやつの選択、活動の選択など本人に選択肢を与え間違った選択にならないよう時に誘導も行っています。	外出時の対応を職員で検討いていきます。

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		指導員と担当者会議に参加する責任者で事前打ち合わせの上、状況を見て現場指導員にも担当者会議に参加してもらっています。	特にありません。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9		関係各所との連絡は密に行っています。	特にありません。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9		保護者の方も含めて３者での連絡を密に行っています。	特にありません。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	3	関係各所との連絡は密に行っています。	パート、アルバイトへの周知をもう少し深められるようにしていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	3	関係各所との連絡は密に行っています。	パート、アルバイトへの周知をもう少し深められるようにしていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	6	3	関係各所との連絡は密に行っています。	パート、アルバイトへの周知をもう少し深められるようにしていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	2	年に数回ですが、合同イベントの開催をしています。	特にありません。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	9		月一回の支援部会への参加をしています。	特にありません。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		送迎時に保護者の方をお話をして共通理解をしています。	特にありません。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9		年１回、保護者会を行い情報交換を行っています。	特にありません。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		契約時に説明を行い、希望があれば随時説明を行っています。	特にありません。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		契約時にお互いに支援方法情報の交換をを行い、希望があれば随時を行っています。	特にありません。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	9		契約更新時に説明と同意をしていただいています。	特にありません。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		送迎時に保護者の方をお話をして共通理解をし、希望があれば随時面談を行っています。	特にありません。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	9		年１回、保護者会を行い情報交換を行っています。	特にありません。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		契約時に苦情窓口の説明をして随時対応しています。	特にありません。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		保護者の方に同意書にて確認済の利用者のみInstagramにて情報発信しています。	特にありません。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		鍵付きロッカーにて保管。	特にありません。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		関係各所との連絡を密にして３者で情報交換をしています。	特にありません。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9		年１回、地域の方を招いたイベントを行っています。	特にありません。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		契約時に説明を行い、希望があれば随時説明を行っています。年２回職員訓練を行っています。	特にありません。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		年２回業務継続計画会議を行い職員での訓練も行っています。	特にありません。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		契約時にアセスメントシートに記入していただき職員で共有しています。	特にありません。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		契約時にアセスメントシートに記入していただき職員で共有しています。	特にありません。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		年２回安全計画会議を行い職員での訓練も行っています。	特にありません。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	9		契約時に安全確保の説明を行い、希望があれば随時を行っています。	特にありません。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		月一回の職員会議で共有し意見を交換しています。	特にありません。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		年２回虐待防止議を行い職員での研修も行っています。	特にありません。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9		月一回の職員会議で共有し意見を交換しています。	特にありません。

（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス　たいよう			
○保護者評価実施期間	令和　8年　1月　5日	～	令和　8年　1月　３１日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	20	（回答者数）	16
○従業者評価実施期間	令和　8年　1月　5日	～	令和　8年　1月　３１日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	9	（回答者数）	9
○事業者向け自己評価表作成日	令和　8年　3月　1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	【ライフスキルトレーニングの充実】 活動プログラムの内容、お出かけなどライフスキルに特化した活動が保護者の方より好評いただいております。	保護者の方からの意見を参考にして、電車に乗っておつかい（おかいもの）や室内活動では○○ごっこなど社会に出てから役立つ活動をメインに行っています。	新しく入って来る利用者やその保護者の方にも喜んでいただける対応を行い、新しいことへの挑戦もしていきたいと思います。
2	【活動プログラムの充実】 日替わりの活動プログラムが他にはない活動予定で珍しいと保護者の方よりお声をいただいております。	週替わりの活動ではなく、日々オリジナルの活動で利用者や保護者の方が見て飽きない活動プログラムを心掛けています。	保護者の方や職員が中心で考えるのではなく、利用者本人にも意見を聞いて新しいプログラムへの挑戦もしていきたいと思います。
3	【保護者ニーズへの対応】 急な予定変更（送迎場所・時間の変更）への迅速な対応に関して保護者の方より好評の声をいただいております。	保護者の方の急な対応にも可能な限り対応しています。利用の有無や時間の変更など、保護者の方の都合になるべく合わせていけるように心掛けています。	引き続き変わらぬ対応で保護者の方と施設がお互いに頼れる存在になるように報告・連絡・相談を行っていきたいと思います。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	【学習プログラムへの対応】 宿題の時間は設けておりますが、おやつ・活動の時間に比べ学習の時間が少ないとお声をいただいております。	学年が上がてくるにつれて、下校時間（帰設）する時間が遅くなり宿題の時間が少なくなってしまっています。活動をメインとして考えているので勉強の時間が少なくなってしまう。	保護者の方・学校の先生と連絡を取り、宿題の量やどの程度の学習プログラムを取り入れるかを検討して、活動プログラムに取り入れることもしていきたいと思います。
2	【家族が参加できる研修】 年１回家族交流会を開催していますが、認知度が少ない為、保護者の方より研修や交流会を行いたいとのお声をいただいております。	年１回、保護者交流会は行っていますが、交流会の内容や周知方法に見直しが必要だと感じました。	周知方法に問題があるのか、年１回といった回数の問題なのかの問題を抽出して保護者の方に周知していただけるようにしていきたいと思います。
3	【連絡手段（SNSの活用）】 現状では連絡ノートを使った連絡手段もしくは電話での連絡手段になっています。以前よりSNS等を使った連絡手段の開設のお声はいただいております。	現状、情報漏洩などの観点からSNSを使った連絡手段を使用していないのですが、今後は検討していきたいと思います。	SNSアプリ（LINE）などを使った連絡手段を社内で検討し保護者の方とトラブルの無いように進めていきたいと思います。